

第V部 毎月勤労統計調査特別調査結果の概要

1 賃金の動き

(1) きまって支給する現金給与額

令和元年7月におけるきまって支給する現金給与額は、調査産業計で前年比11.4%増の202,345円となった。これを男女別にみると、男性は9.9%増の274,971円、女性は3.2%増の144,506円となった。(表1、図1)

(2) 特別に支払われた現金給与額

平成30年8月1日から令和元年7月31日までの1年間に特別に支払われた現金給与額は、調査産業計で前年比38.9%増の306,767円となった。これを男女別にみると、男性は32.5%増の433,026円、女性は30.8%増の204,603円となった。

また、年間特別給与支給割合(7月の月間きまって支給する給与に対する年間の特別に支払われた給与の割合)は、調査産業計で1.52ヶ月分(前年1.22ヶ月分)となった。(表2、図2)

表1 産業、性別きまって支給する現金給与額

産業、男女別	規模1～4人事業所		
		対前年比	
	円	%	%
調査産業計	202,345	11.4	(△ 2.3)
男	274,971	9.9	(△ 2.3)
女	144,506	3.2	(0.4)
建設業	266,669	2.2	(△ 2.0)
製造業	205,478	9.9	(△ 2.4)
卸売業、小売業	214,837	23.8	(△ 3.0)
宿泊業、飲食サービス業	87,132	△ 3.8	(△ 11.7)
生活関連サービス業、娯楽業	159,248	11.2	(7.1)

注) ()内は、平成30年調査の前年比の数値である。

図1 産業別、性別きまって支給する現金給与額

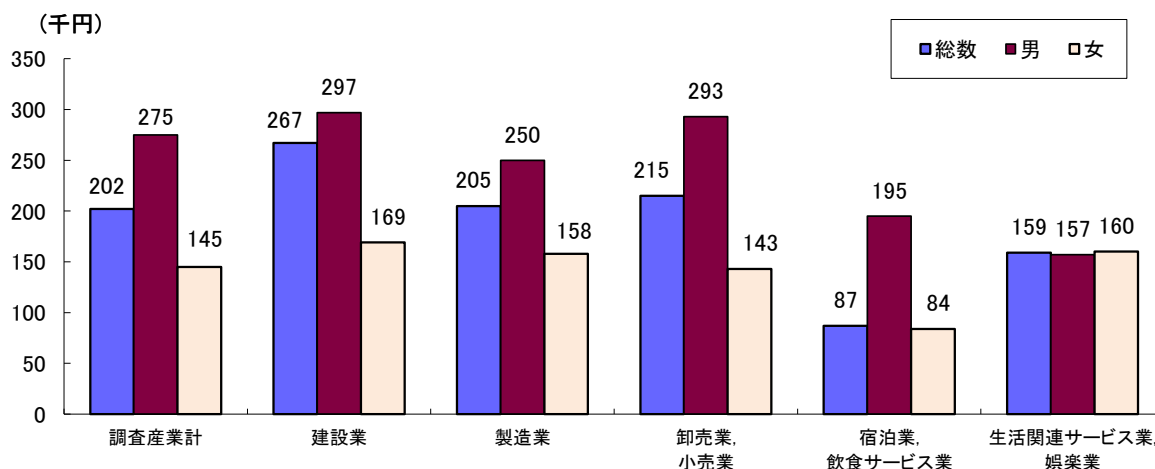


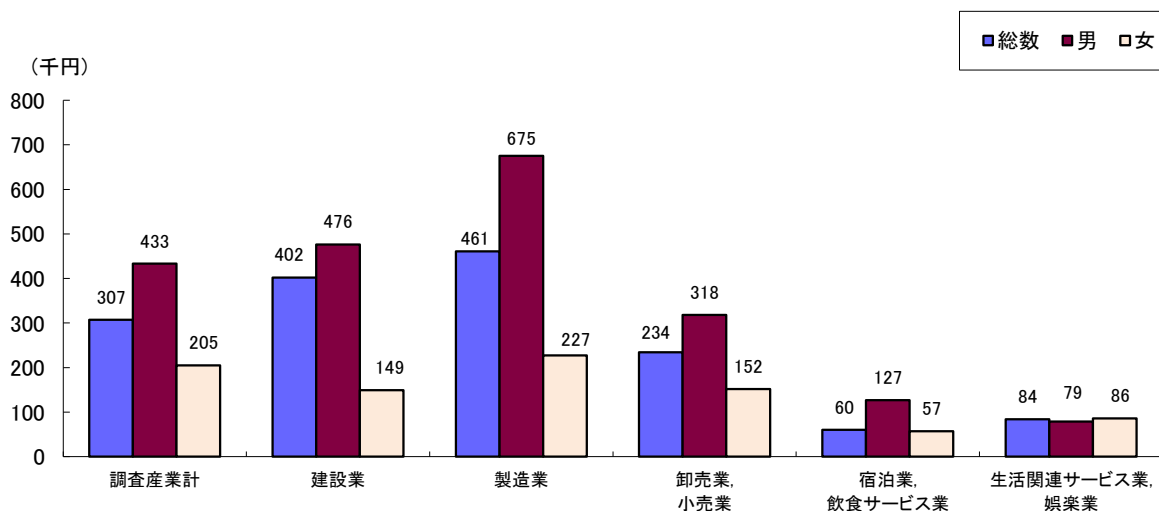
表2 産業、性別年間に特別に支払われた現金給与額

産業、男女別	実 額	前年比		支給割合	前年差
		円	%		
調 査 産 業 計	306,767	38.9	(4.4)	1.52	0.30
男	433,026	32.5	(7.7)	1.57	0.26
女	204,603	30.8	(3.6)	1.42	0.30
建 設 業	401,894	94.3	(△ 9.9)	1.51	0.72
製 造 業	461,396	195.5	(17.6)	2.25	1.41
卸 売 業, 小 売 業	233,991	19.9	(2.0)	1.09	△ 0.03
宿泊業, 飲食サービス業	59,563	68.0	(85.5)	0.68	0.29
生活関連サービス業, 娯楽業	83,874	40.4	(3.7)	0.53	0.11

注：1) 年間に特別に支払われた現金給与額は、勤続1年以上の常用労働者について平成30年8月1日から令和元年7月31日までの1年間に支給された額を集計したもので、賞与のほか、ベースアップの差額支給分等を含む。

2) () 内は、平成30年調査の前年比の数値である。

図2 産業、性別年間に特別に支払われた現金給与額



2 出勤日数と労働時間の動き

(1) 出勤日数

7月における出勤日数は、調査産業計で前年差0.6日増の20.3日となった。これを男女別にみると、男性は0.5日増の21.2日、女性は0.5日増の19.6日となった。(表3、図3)

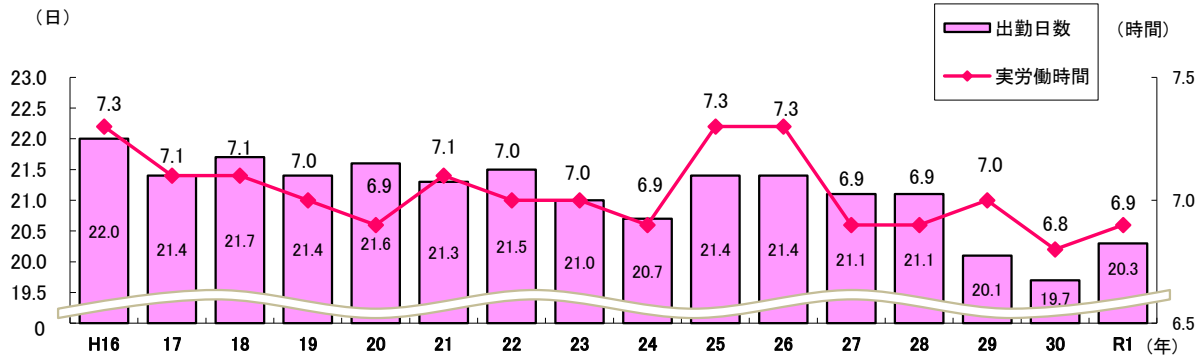
(2) 実労働時間

7月における通常日1日の実労働時間数は、調査産業計で前年差0.1時間増の6.9時間となった。これを男女別にみると、男性は前年と同水準の7.6時間、女性は前年と同水準の6.3時間となった。(表3、図3)

表3 産業、性別出勤日数及び通常日1日の実労働時間

産業、男女別	出 勤 日 数		実 労 働 時 間	
	日	前年差	時間	前年差
調 査 産 業 計	20.3	(0.6)	6.9	(0.1)
男	21.2	(0.5)	7.6	(0.0)
女	19.6	(0.5)	6.3	(0.0)
建 設 業	21.8	(0.1)	7.6	(0.3)
製 造 業	19.8	(△ 1.2)	6.8	(0.1)
卸 売 業, 小 売 業	21.0	(0.9)	7.2	(0.1)
宿泊業, 飲食サービス業	18.1	(2.4)	5.2	(△ 0.2)
生活関連サービス業, 娯楽業	19.6	(△ 0.1)	6.9	(0.1)

図3 出勤日数及び通常日1日の実労働時間



3 雇用の動き

(1) 常用労働者数

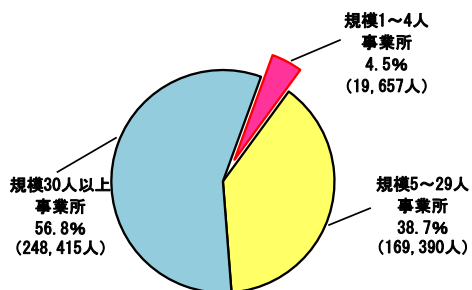
7月末の常用労働者数は、調査産業計で前年比 23.9%減の 19,657 人となった。これを男女別にみると、男性は 10.5%減の 8,714 人、女性は 32.0%減の 10,942 人となった。

女性常用労働者の割合は 6.6 ポイント減の 55.7%となった。(表4、図4、図5)

表4 産業、性別常用労働者

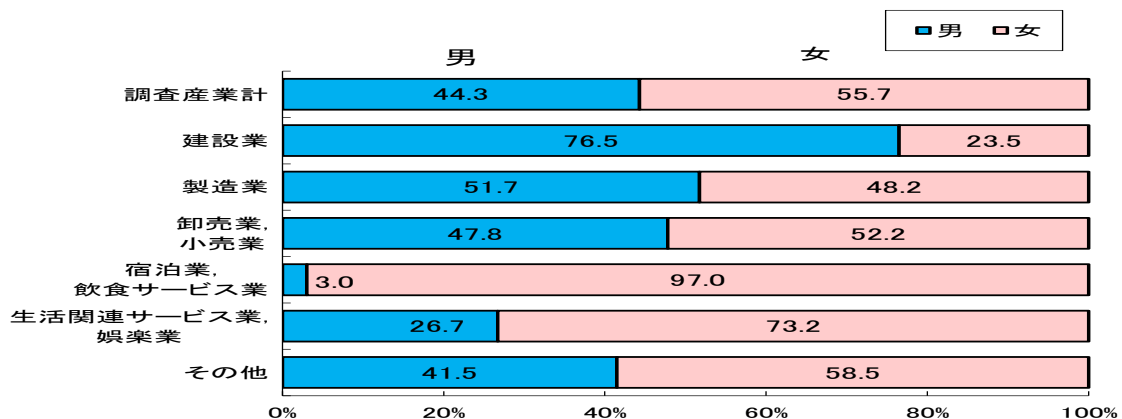
産業・男女別	規模1~4人事業所 (人)	
	対前年比	
調査産業計	19,657	△ 23.9
男	8,714	△ 10.5
女	10,942	△ 32.0
建設業	2,845	△ 5.4
男	2,176	△ 4.3
女	669	△ 8.7
製造業	1,648	△ 18.1
男	852	△ 2.1
女	795	△ 30.4
卸売業、小売業	4,795	△ 38.6
男	2,291	△ 4.2
女	2,503	△ 53.8
宿泊業、飲食サービス業	1,814	△ 34.7
男	54	△ 90.4
女	1,760	△ 20.4
生活関連サービス業、娯楽業	1,407	△ 38.2
男	376	△ 35.5
女	1,030	△ 39.1

図4 規模別常用労働者数とその割合



(注)規模5人以上の常用労働者数は、毎月勤労統計調査地方調査(令和元年7月)による。

図5 産業別常用労働者男女割合

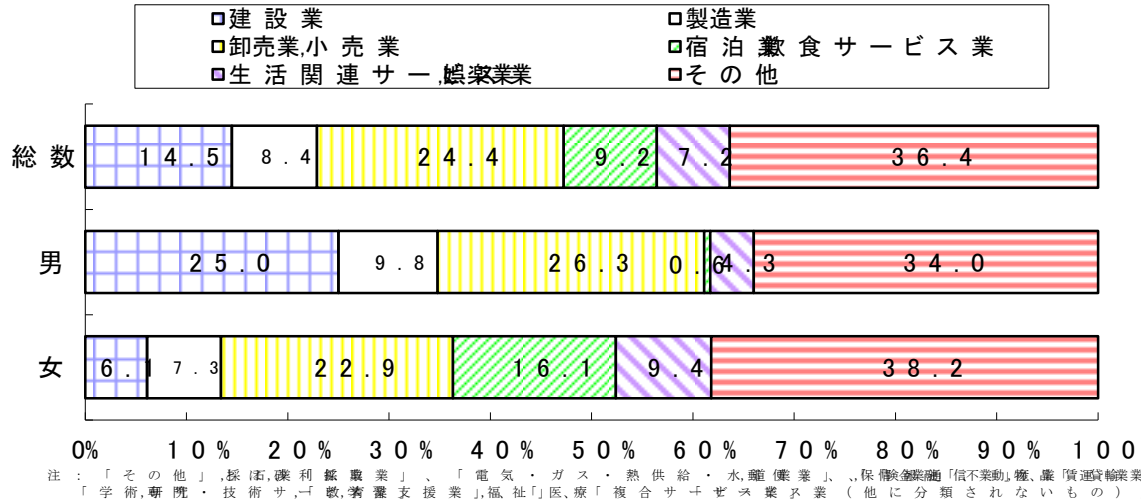


(2) 常用労働者構成比

常用労働者の産業別構成比をみると、「卸売業、小売業」が24.4%と最も多く、次いで「建設業」の14.5%、「宿泊業、飲食サービス業」が9.2%、「製造業」が8.4%、「生活関連サービス業、娯楽業」が7.2%の順となった。

男性常用労働者では、「卸売業、小売業」が26.3%と最も多く、次いで「建設業」が25.0%、女性常用労働者では、「卸売業、小売業」が最も多く22.9%で、次いで「宿泊業、飲食サービス業」が16.1%となった。(図6)

図6 産業、男女別常用労働者の分布



4 全国との比較

(1) きまって支給する給与

きまって支給する給与は、全国は197,196円であったのに対し、富山県は202,345円で全国を5,149円上回った。(表5)

(2) 特別に支払われた給与

年間の特別に支払われた現金給与額は、全国は247,634円であったのに対し、富山県は306,767円で全国を59,133円上回り、年間特別給与支給割合でも全国1.26ヶ月に対し、富山県1.52ヶ月で全国を0.26ヶ月上回った。(表5)

(3) 出勤日数

月間出勤日数は、全国は19.8日、富山県は20.3日で、全国を0.5日上回った。(表5)

(4) 実労働時間数

通常日の実労働時間数は、全国は6.9時間、富山県は6.9時間で、全国と同水準であった。(表5)

表5 全国比較（調査産業計）

	富山県 (A)	全国 (B)	比較 (A-B)
きまって支給する現金給与額	202,345円	197,196円	5,149円
年間特別に支払われた現金給与額	306,767円	247,634円	59,133円
支給割合	1.52ヶ月	1.26ヶ月	0.26ヶ月
出勤日数	20.3日	19.8日	0.5日
通常日の実労働時間数	6.9時間	6.9時間	0.0時間
常用労働者数	19,657人	1,686,558人	—